

CRESCO 

2024年3月期 3Q 連結
アナリスト向け決算説明会

2024年2月6日



1 決算のポイント



■ 組織および体制関連

- 4月1日付で、更なる品質強化と業務効率化の促進を目的として、「品質管理本部」を「品質・プロセス統括本部」に改組。また、デジタルソリューション事業中心に事業拡大のため「営業統括部」を「ビジネスイネーブルメントサービス本部」の直下組織に。
- 5月10日の取締役会で、自己株式の取得（上限10億円または50万株）と自己株式の消却を決議。
- 9月29日、当社企業グループの財務情報と非財務情報（経営理念、事業内容、価値創造プロセス、サステナビリティ／ESGの取組みなど）を整理し、詳述した「統合報告書2023」を創刊。
- （※1月29日発表）グループの人材・経営資源の有効活用によるシナジー効果の更なる発揮を目的として、日本ソフトウェアデザイン(株)、(株)メクゼスおよび(株)クレスコ間でリソースの整理・統合を検討中。

■ 事業関連

- デジタルソリューションとしてのRPA強化
 - ・ UiPath社のRevenue Growth Partner of the Yearを受賞。
 - ・ ウイングアーク1st社と販売代理店契約を締結。同社の電子帳票プラットフォームinvoiceAgentとUiPath連携による経理業務ペーパーレス化・自動化ソリューションの提供を開始。
- デジタルソリューションとしてのAI分野強化
 - ・ Microsoft社の「Azure OpenAI Service」を利用した生成系AIチャットサービス「CrePT（クレプト）」を構築し、5月より社内向け運用開始。
 - ・ 当社AI専門家による「AIエスコート」サービス提供開始。
 - ・ 数値最適化手法を用いてホテルの部屋割り業務を効率化するツール「RooMagic」をリリース。



□ その他

- 「セキュリティ脆弱性診断」のメニューにペネトレーションテストを追加したサービスを提供開始。
- 資本出資するインド法人「Cognavi India」がインド新卒学生向けジョブポータルサイトをオープン。
- ベトナムのレストラン&リテールテックスタートアップ企業CAPICHI社に出資。同社提供のQRモバイルオーダーシステム「Capichi OI」の日本国総代理店として、飲食店、小売店、宿泊施設のDX化への貢献を図る。
- 連結子会社「クレスコ・デジタルテクノロジーズ」が、サブスクリプション型WiFiサービスおよび製造業向け「統合BOM管理ソリューション」の提供を発表。
- 当社のセキュリティソリューションの強化を目的として、情報セキュリティサービスを展開する(株)セキュアイノベーション（本社：沖縄県那覇市）と資本業務契約を締結。

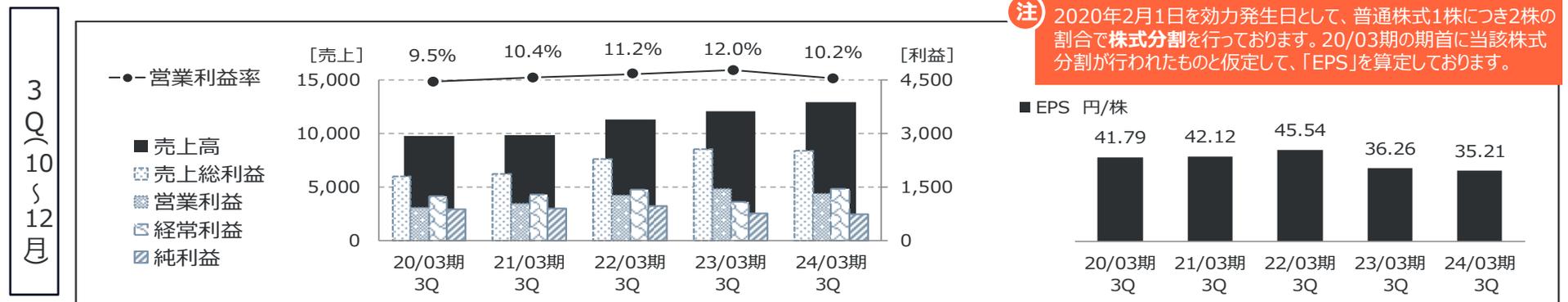
1 決算のポイント 1.2. 売上高・利益

【注】（ ）内の数字は各々の利益率を表します。
 【注】「純利益」は「親会社株主に帰属する当期(四半期)純利益」です。

[単位：百万円未満切捨]

- 新型コロナ5類移行による経済活動正常化、生成系AIの活用やサイバー攻撃対応等への関心の高まりもあり、企業のIT投資需要は依然として旺盛。業種別になお濃淡はあるものの、主要顧客を中心に売上が増加し、前年同期比（以下同じ）+9.0%の大幅増収。
- 新卒採用増、給与水準引き上げ、教育投資拡大に加え、複数の大型の不採算案件の発生により、営業利益は▲10.8%の大幅減益。
- 経常利益は、金融商品に係るデリバティブ評価益（営業外収益）301百万円を計上し+21.4%の大幅増益。
- 特別利益として投資有価証券償還益108百万円を計上。

3Q累計		22/03期	23/03期	24/03期	前年同期比	対通期進捗率	通期業績予想	
							23/5/10 予想	前年同期比
	売上高	32,406	35,376	38,544	109.0%	73.4%	52,500	108.5%
	売上総利益	6,348 (19.6%)	7,095 (20.1%)	7,202 (18.7%)	101.5%			
	営業利益	3,292 (10.2%)	3,697 (10.5%)	3,298 (8.6%)	89.2%	62.8%	5,250 (10.0%)	105.0%
	経常利益	3,641 (11.2%)	3,202 (9.1%)	3,887 (10.1%)	121.4%	72.4%	5,370 (10.2%)	104.6%
	純利益	2,564 (7.9%)	2,230 (6.3%)	2,398 (6.2%)	107.5%	66.9%	3,582 (6.8%)	107.6%
	EPS 円/株	121.96	105.99	115.67			173.89	





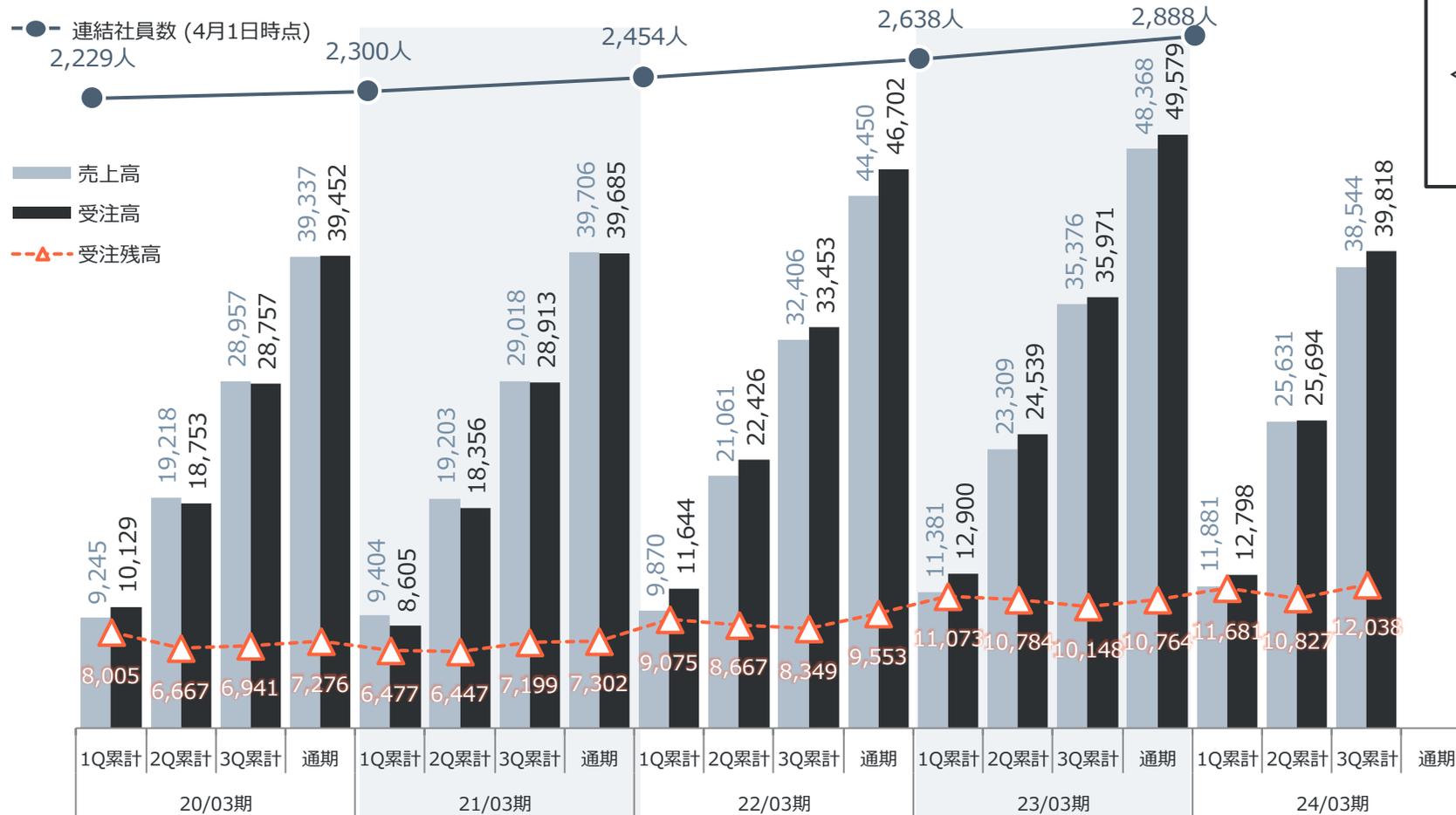
1.3. 受注高・受注残高

[単位：百万円未満切捨]

- 受注高は前年累計比10.7%増。受注残高は前年同期比18.6%増。
- 経済活動正常化もあり、企業のDX推進に向けた動きは活発な状況。

<受注高>
前年同期累計比
110.7 %

<受注残高>
前年同期比
118.6 %

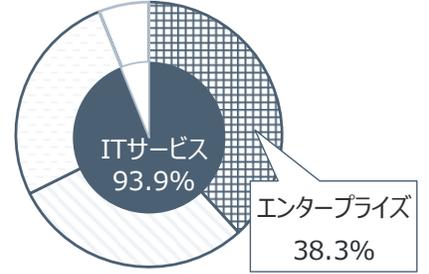


1.4. セグメント別売上高・利益 [ITサービス事業：エンタープライズ]

[単位：百万円未満切捨]

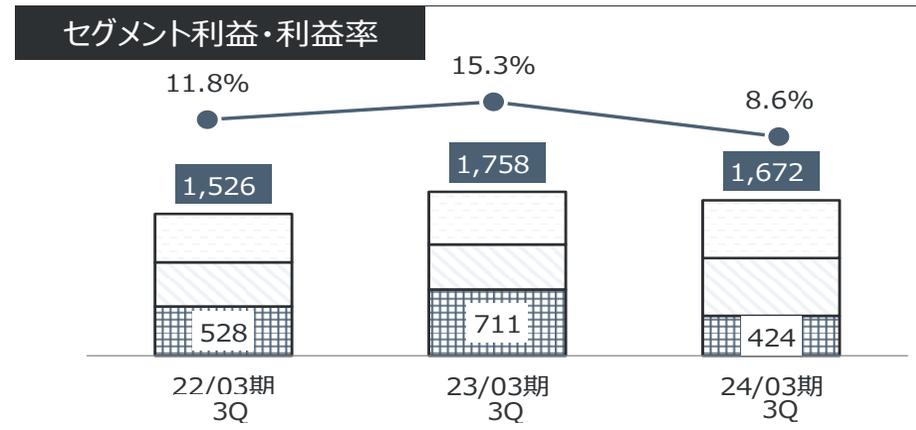
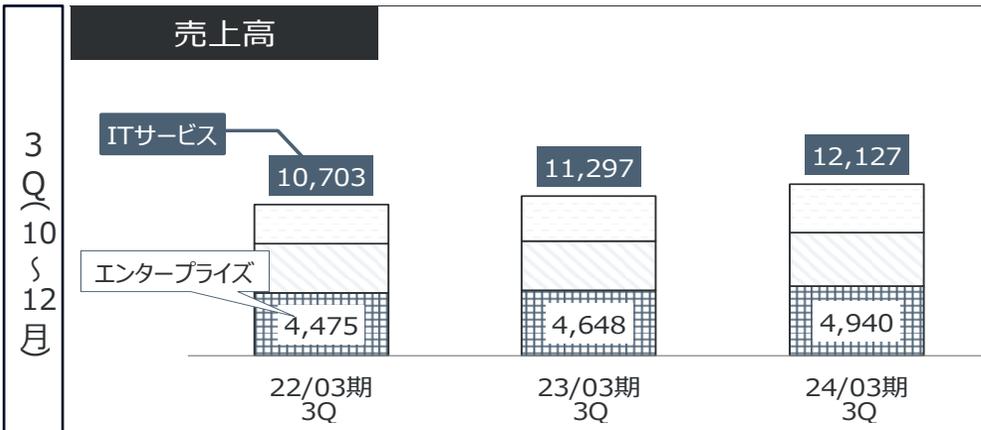
セグメント	サブセグメント
ITサービス ・コンサルティング ・IT企画 ・開発・保守の総合サービス	エンタープライズ 情報・通信、広告、流通サービス、運輸、 人材紹介・人材派遣、公共、資源・エネルギー、 建設・不動産、旅行・ホテル、医療・ヘルスケア、その他

<セグメント別の売上高比率:3Q(10~12月)>



3Q累計

- **売上高：147億31百万円（前年同期比 8.7% ↑）**
 - ・「情報・通信・広告」「建設・不動産」の両分野において一部の連結子会社の売上が大幅に増加。
- **セグメント利益／利益率：13億51百万円／9.2%（前年同期比 25.7% ↓）**
 - ・「人材紹介・人材派遣」「流通サービス」の分野で不採算案件が発生。



3Q(10~12月)

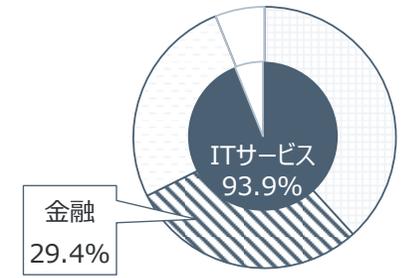


1.5. セグメント別売上高・利益 [ITサービス事業：金融]

[単位：百万円未満切捨]

セグメント		サブセグメント	
IT サービス	・コンサルティング	金融	銀行、保険、その他
	・IT企画		
	・開発・保守の総合サービス		

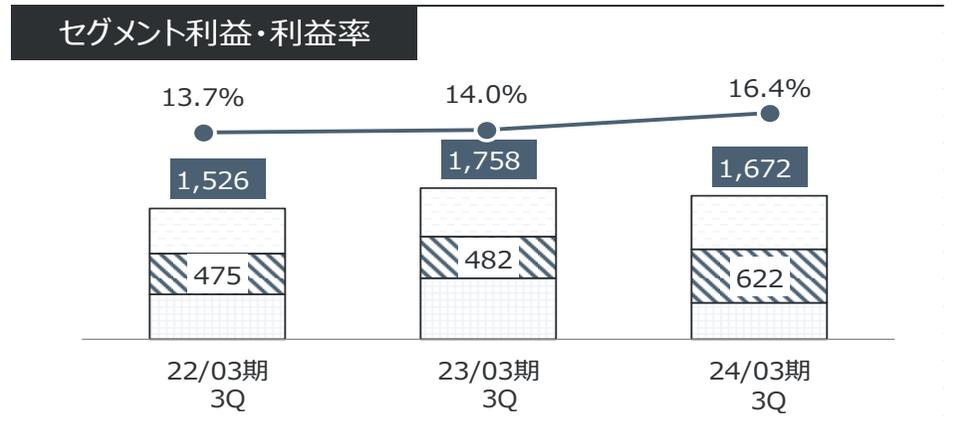
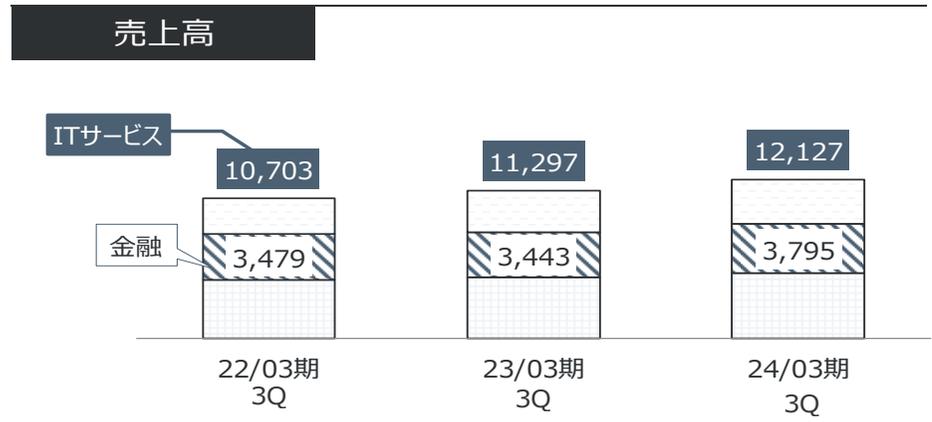
<セグメント別の売上高比率:3Q(10~12月)>



- **売上高：108億22百万円**（前年同期比 1.9% ↑）
 - ・「保険」「その他」の両分野で大型案件収束により受注が減少したものの、「銀行」分野において既存顧客からの受注が増加。
- **セグメント利益／利益率：13億43百万円／12.4%**（前年同期比 0.3% ↓）
 - ・売上高の増加と同様の理由に加え、「銀行」分野で不採算案件が発生。

3Q累計

3Q(10~12月)

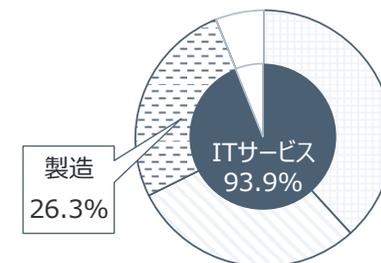


1 決算のポイント 1.6. セグメント別売上高・利益 [ITサービス事業：製造]

[単位：百万円未満切捨]

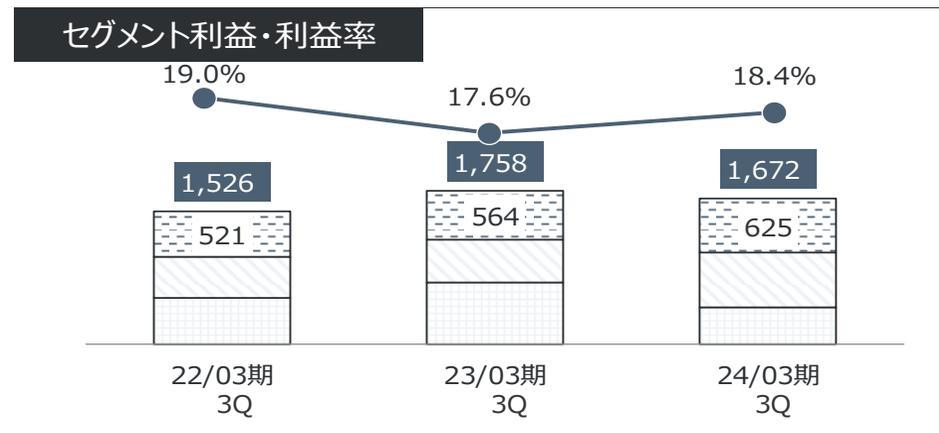
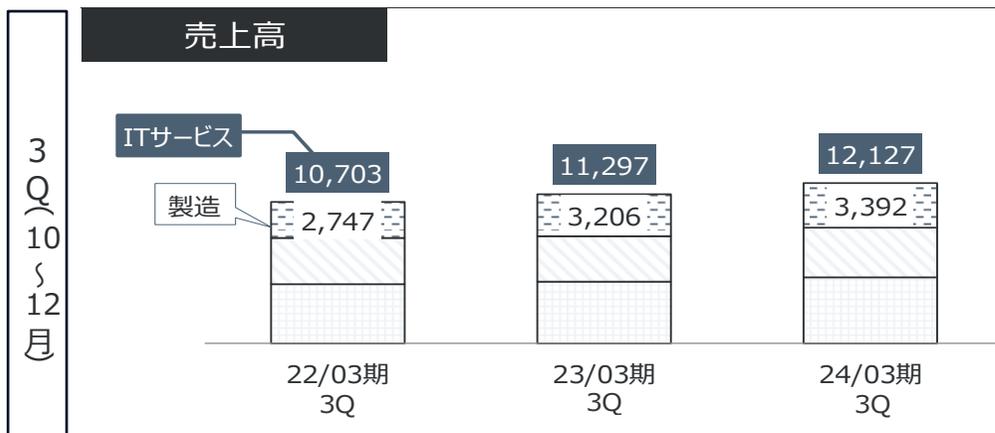
セグメント		サブセグメント	
IT サービス	・コンサルティング	製造	自動車、輸送機器、機械、エレクトロニクス、その他
	・IT企画		
	・開発・保守の総合サービス		

<セグメント別の売上高比率:3Q(10~12月)>



3
Q
累
計

- **売上高：101億78百万円**（前年同期比 **8.0%** ↑）
 - ・当社および一部の連結子会社の「機械・エレクトロニクス」分野での売上増。
- **セグメント利益／利益率：17億25百万円／17.0%**（前年同期比 **11.0%** ↑）
 - ・売上高の増加と同様の理由。



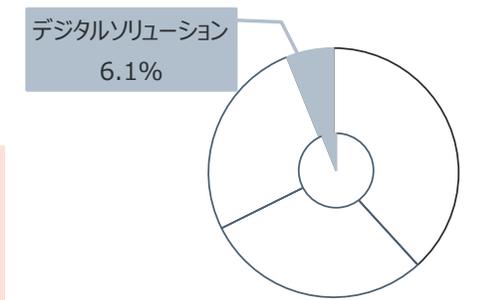
3
Q
(
10
~
12
月)

1.7. セグメント別売上高・利益 [デジタルソリューション事業]

[単位：百万円未満切捨]

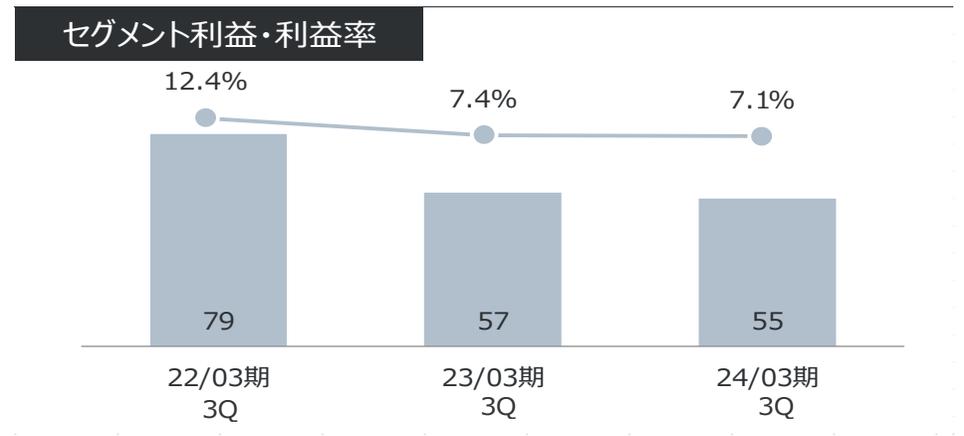
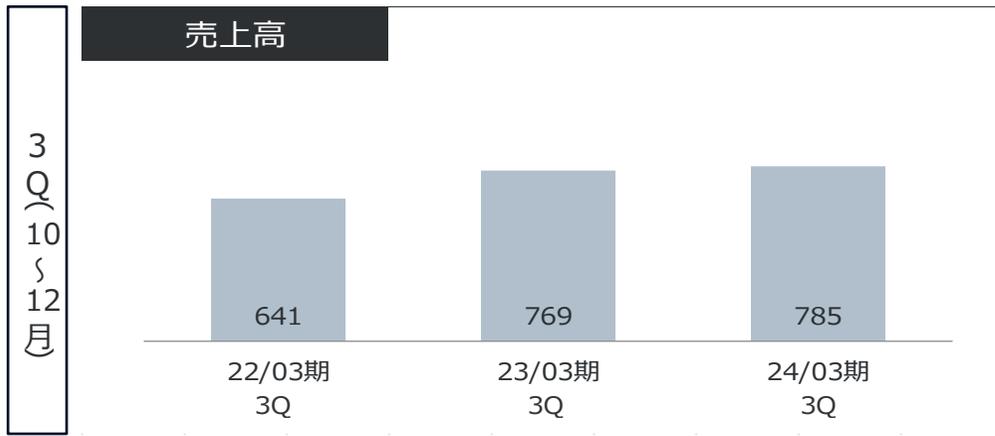
セグメント	事業
デジタルソリューション	顧客のDX実現を支援する製品・サービスからなるソリューション群 <主な製品・サービス名> Creage：クラウド関連サービス UiPath：RPA関連サービス アノテーション：AI関連サービス 教育・セミナー：AI、クラウド、RPAなど

<セグメント別の売上高比率:3Q(10~12月)>



- **売上高：28億11百万円**（前年同期比 **57.4%** ↑）
 - ・ 主クラウドサービスの「Creage」とRPAライセンスの販売が増加。
- **セグメント利益／利益率：1億46百万円／5.2%**（前年同期比 **48.1%** ↑）
 - ・ 上記の売上高の増加と同様の理由。

3Q累計





2 2024年3月期の見通し



[単位：百万円未満切捨]

- 2023年5月10日公表の2024年3月期連結業績予想に**変更なし**。
- 今後の状況や事業動向等を踏まえ、業績予想の修正が必要となった場合には、速やかに開示。

	23/03期					24/03期		
	22/5/10 予想	前年 同期比	実績	前年 同期比	達成率	23/5/10 予想	前年 同期比	
通 期	売上高	47,500	106.9%	48,368	108.8%	101.8%	52,500	108.5%
	売上総利益			9,641 (19.9%)	110.8%			
	営業利益	4,750 (10.0%)	106.6%	4,998 (10.3%)	112.1%	105.2%	5,250 (10.0%)	105.0%
	経常利益	5,150 (10.8%)	107.7%	5,135 (10.6%)	107.4%	99.7%	5,370 (10.2%)	104.6%
	純利益	3,350 (7.1%)	103.5%	3,328 (6.9%)	102.8%	99.4%	3,582 (6.8%)	107.6%
	EPS 円/株	158.99		158.10			173.89	

【注】 () 内の数字は各々の利益率を表します。「純利益」は「親会社に帰属する当期純利益」です。

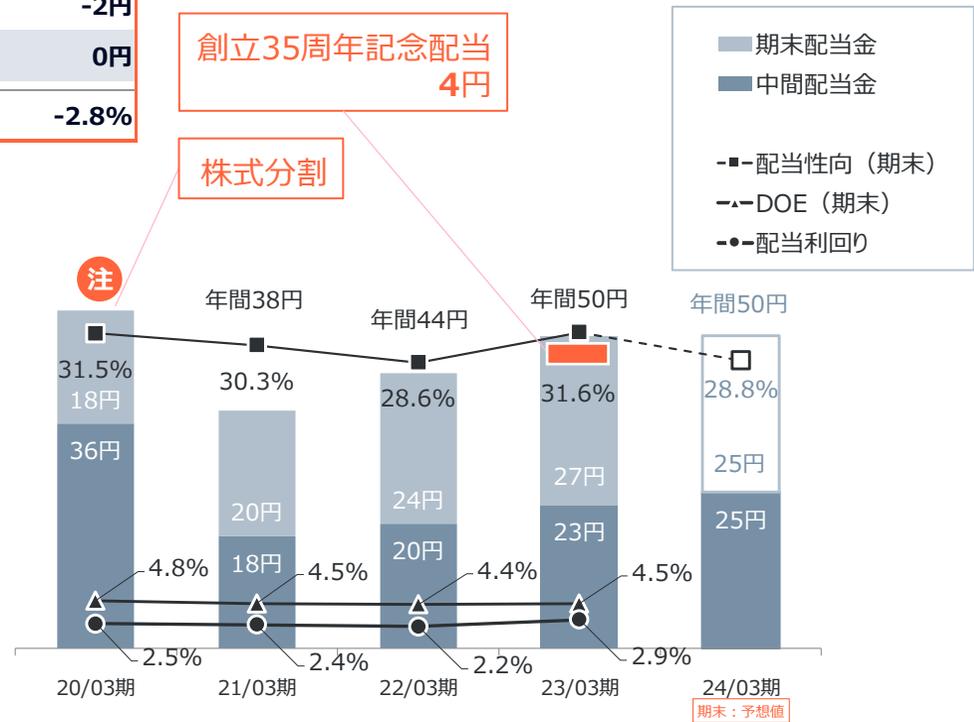
- 株主還元方針に則った配当を継続。
- 2023年5月10日公表の、2024年3月期の配当目標「50円」に変更なし。

	22/03期	23/03期	24/03期		増減
	実績	実績	実績	23/5/10 予想	
中間	20円	23円	25円	25円	2円
期末	24円	27円	-	25円	-2円
年間	44円	50円	-	50円	0円
配当性向	28.6%	31.6%	-	28.8%	-2.8%
配当利回り	2.2%	2.9%	-	-	-
DOE	4.4%	4.5%	-	-	-
配当金の総額	925百万円	1053百万円	-	-	-

[配当金の総額：百万円未満切捨]

株主還元方針

- ▶ 当社は株主のみなさまに対する利益還元を経営の重要課題と位置づけており、株主資本の充実と長期的な安定収益力を維持するとともに、業績に裏付けられた適正な利益配分を維持することを基本方針としております。
- ▶ 特段の株主優待は行っておりません。
- ▶ 配当に関しましては、原則、**連結経常利益**をもとに、特別損益を零とした場合に算出される**親会社に帰属する当期純利益**の30%相当を目的に継続的に実現することを目指してまいります。



注 2020年2月1日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。

- 20/3期中間は**分割前の実際**の配当金の額を記載しております。
- 20/03期の合計は、株式分割の実施により単純計算ができないため記載しておりません。



ご参考

ご参考  1) 連結子会社の変遷

	2020年3月期				2021年3月期				2022年3月期				2023年3月期				2024年3月期			
	1Q	2Q	3Q	4Q																
クレスコ・イー・ソリューション	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
クレスコワイヤレス	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
アイオス 【※1】【※5】【※7】【※9】	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
クレスコ北陸	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
シーサー	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
クレスコ・デジタルテクノロジーズ 【※12】	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
メクゼス 【※3】【※4】	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
エヌシステム 【※13】	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
ネクサス 【※2】【※13】	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
アルス 【※6】【※13】	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
クレスコ・ジェイキューブ 【※13】	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
クレスコベトナム 【※8】	●	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
エニシアス 【※10】	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
クレスコ・ネクシオ 【※11】【※15】	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
日本ソフトウェアデザイン 【※14】	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
子会社総数	10	11	11	11	12	12	12	12	12	13	13	13	13	11	11	12	12	12	12	12

- 【※1】 2017年10月2日付で「アイオス」は「(株)アプリケーションズ」を子会社化 (当社の孫会社)
- 【※2】 2018年1月12日付で「(株)ネクサス」を子会社化
- 【※3】 2018年3月12日付で「メディア・マジック」は「メクゼス」に商号変更
- 【※4】 2018年4月1日付で「メクゼス」は「アイオス 関西営業所」を統合
- 【※5】 2018年4月1日付で「アイオス」は「アプリケーションズ」を統合
- 【※6】 2018年10月1日付で「アルス(株)」を子会社化
- 【※7】 2018年11月1日付で「アイオス」は「イーテクノ(株)」を子会社化 (当社の孫会社)

- 【※8】 2019年9月17日付で「CRESCO VIETNAM CO., LTD.(クレスコベトナム)」を設立 (営業開始は2019年10月1日から)
- 【※9】 2019年10月1日付で「アイオス」は「イーテクノ」を統合
- 【※10】 2020年4月1日付で「(株)エニシアス」を子会社化
- 【※11】 2021年7月1日付で「(株)OEC」を子会社化
- 【※12】 2022年5月1日付で「クリエイティブジャパン」は「クレスコ・デジタルテクノロジーズ」に商号変更
- 【※13】 2022年7月1日付で「アルス」は「エヌシステム」「ネクサス」を統合
- 【※14】 2023年2月1日付で「日本ソフトウェアデザイン (株)」を子会社化
- 【※15】 2023年10月1日付で「OEC」は「クレスコ・ネクシオ」に商号変更

ご参考 2) 経営ビジョンと中期経営計画の詳細URL



「経営ビジョン」の詳細

<https://www.cresco.co.jp/ja/corpinfo/vision.html>

【注】 コーポレートロゴ変更に伴い、イメージ画像を変更しました。 内容に変更はありません。



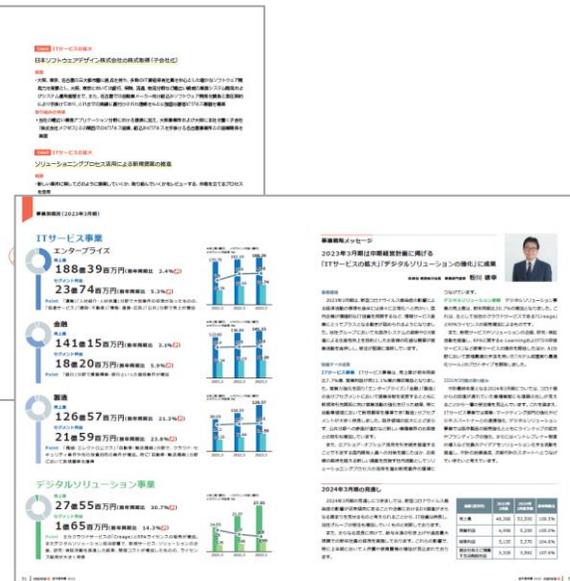
「中期経営計画2023」の詳細

<https://www.cresco.co.jp/ja/ir/operation/plan.html>



ご参考 ※ 3) 統合報告書の創刊

財務情報と非財務情報（経営理念、事業内容、価値創造プロセス、サステナビリティ／ESGの取り組みなど）を整理し、詳述した「統合報告書」を創刊しました。



「統合報告書」は、当社Webサイトよりご覧いただけます。
https://www.cresco.co.jp/ja/ir/library/annual_report.html



ご参考  4) 当社および子会社の組織再編方針（1/29公表）

当社およびその子会社2社（日本ソフトウェアデザイン(株)、(株)メクゼス）は、3社間の組織再編に向けた方針につき合意いたしました。

	(株)クレスコ	日本ソフトウェアデザイン(株)	(株)メクゼス
企業ロゴ		 A CRESCO COMPANY 	 A CRESCO COMPANY 
主な事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・情報システムに関するコンサルティングおよびソリューションサービス業務 ・設計、開発業務 ・運用管理、保守業務 ・調査、分析、評価および技術支援業務 	<ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータ・ソフトウェアの開発・保守に関する業務 ・情報通信システムの設計、運用管理に関する業務 ・労働者派遣事業 ・前各号に付帯する一切の業務 	<ul style="list-style-type: none"> ・業務系・制御系システム開発（Web型・CS型） ・Webデザイン制作 ・モバイルアプリ開発 ・システム基盤構築 ・ITコンサルティング ・RPA ・BI 他
設立年月日	1988年4月1日	1983年5月4日	1995年4月3日
本社	東京都港区	大阪府中央区	大阪府中央区

詳細は、2024年1月29日付プレスリリース「当社および連結子会社間における組織再編合意のお知らせ」をご覧ください。

https://www.cresco.co.jp/ja/ir/news/auto_20240129520427/pdfFile.pdf
(PDF : 178KB)



ご参考 5) 次期中期経営計画（2024-2026年度）のポイント

今年度を最終年度とする中期経営計画2023に続き、CRESCO Group Ambition 2030の実現に向けた第2ステップ「挑戦」フェーズとして、2024年度から新たに中期経営計画2026をスタートします。新中期経営計画のポイントは下記の通りです。

- 「2030年連結売上高1000億円」への第2ステップ「挑戦」として、26年度連結売上高700億円、連結営業利益80億円、連結営業利益率11.5%を目指す。
- そのために、より多くのお客様の「戦略パートナー」となることを目指す。
- 株主様への還元強化のため、配当方針を変更する。
(2024年度より配当性向目標値を30%⇒40%に引き上げ)

⇒別紙「中期経営計画2026サマリー」をご覧ください。

免責事項等

- ❖ 掲載内容については細心の注意を払っておりますが、掲載された情報の誤り等によって生じた損害等に関し、当社は一切責任を負うものではありません。
- ❖ また、本資料は投資判断のご参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は、利用者ご自身のご判断において行われるようお願い申し上げます。
- ❖ なお、本資料における将来予測に関する情報および業績見通し等の予想数値や将来展望は、現時点で入手可能かつ合理的な情報による判断および仮定に基づき記述しております。
- ❖ 今後、リスクや不確定要素の変動および経済情勢等の変化により、予告なしで情報を変更したり、実際の業況や業績結果と大きく乖離するなど、本資料の内容と異なる可能性もございます。予めご了承ください。

【 IRのお問合せ】
広報部 Mail : ir@cresco.co.jp
TEL : 03-5769-8058

(別紙)

中期経営計画2026 (サマリー)

(2024年度~2026年度)

2024年2月5日

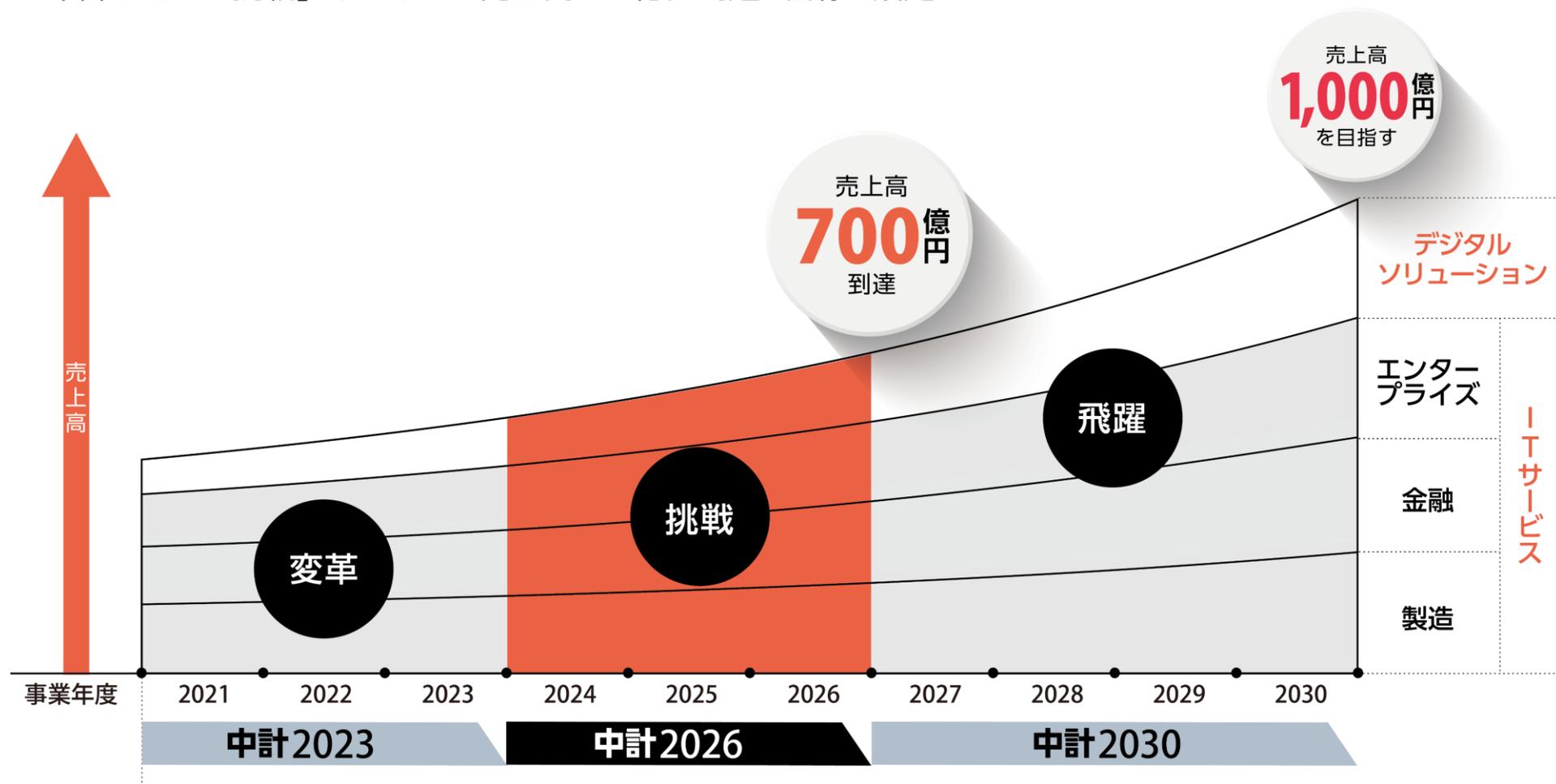


株式会社クレスコ



中計2026 の位置づけ

- 当社グループは引き続き2030年までに売上高1,000億円企業を目指すとともに中計2026は「挑戦」のテーマのもと売上高700億円到達を目標に設定



中計2026のポイント

- 「2030年連結売上高1000億円」への第2ステップ「挑戦」として、26年度連結売上高700億円、連結営業利益80億円、連結営業利益率11.5%を目指す。
- そのために、より多くのお客様の「戦略パートナー」となることを目指す。
- 株主様への還元強化のため、配当方針を変更する。
(2024年度より配当性向目標値を30%⇒40%に引き上げ)

カテゴリ	KGI	2023年度 期初連結業績予想 (2023年5月10日公表済)	2026年度 目標値
事業収益	連結売上高	525億円	700億円
	連結営業利益額	52億円	80億円
	連結営業利益率	10%	11.5%
経営効率性	ROE	-	15%
株主還元	配当性向	30%	40%

Thank You



【注意事項】

- 本資料上の当社（株式会社クレスコ）ブランドマークは、登録商標です。
- 本資料のデザインおよび内容の著作権は、当社に帰属します。
- 本資料は信頼できると思われる各種データを使用して作成しておりますが、当社が当該情報全ての正確性を保証するものではありません。本資料はステークホルダーの皆様への情報提供を目的としており、この目的から生じた結果や資料の信頼性に起因する損害について、当社は一切の責任を負いません。



人が想い描く未来、
その先へ



クレスコグループは
最高のテクノロジーと絆で
“わくわくする未来”を創造します